

平成26年度 第2回入船地区学校統合懇談会議事要旨

1 開催日時 平成26年12月12日(金) 午前10時00分～午前11時30分

2 開催場所 文化会館第1会議室

3 出席者

(委員)

入船中学校長 緒方利昭委員(会長)、入船南小学校長 鞠山誠人委員(副会長)、
入船北小学校 PTA 会長 新田裕子委員(副会長)、

入船北小学校長 手塚和真委員、入船北小学校 PTA 役員 君島佳子委員、

入船南小学校 PTA 会長 本橋英明委員、入船南小学校前 PTA 副会長 大下玉美委員、

入船中学校学校支援コーディネーター 中村智子委員

入船中学校 PTA 副会長 池田恵子委員

教育総務部長 米本慎一、教育総務部参事 鈴木忠吉、

教育総務部次長 佐久間利秋、教育総務部次長(教育政策課長) 佐藤伸彦

(事務局)

学務課長 小澤力雄、学務課主幹 鈴木孝一、教育政策課長補佐 小林桂子、

教育政策課主査 佐藤克文、教育政策課主任主事 小倉隆志

4 議題

○これまでの経緯

- ・学校説明会の報告
- ・就学希望調査結果報告
- ・学校統合に向けた準備の進捗状況について

○新しい小学校における「魅力ある学校づくり」について

- ・「魅力ある学校づくり」に向けて
- ・入船北小学校と入船南小学校の閉校に伴う行事について

5 資料

- ・入船小学校開校に伴う説明会の概要について
- ・入船小希望調査結果通知文

6 会議経過(概要)

(1) 事務局の説明について

- ・学校説明会の報告

資料1のとおり

・就学希望調査結果報告

結果は資料2のとおり。変更の期日を12月10日までと伝えていたところ、6名の変更があった。内訳は美浜北小への変更希望が5名、入船小への変更が1名であった。本日12月12日付で就学通知という形で決定を通知した。

・学校統合に向けた準備の進捗状況について

渡り廊下工事に伴う技術棟工事はほぼ終わっており、10月から使用を開始している。校舎は現在外壁塗装中で、足場がかかっているが、4月には外し、開校を迎えられる。校舎の内装については、今年度（平成26年度）の夏休みに、2、3階の天井の改修及び照明器具の交換を行った。

平成27年の夏休みは、南側の普通教室の内装と整備工事を行う。2学期からはきれいな状態で使用できる。

(2) 新しい小学校における『魅力ある学校づくり』について

○「魅力ある学校づくり」に向けて（3つのコンセプトに基づいた情報交換）

①「小中連携・一貫教育の推進」について

委員：10月29日に行われた中学校の合唱コンクールに両小学校が参加した。中学生のコンクールにかける迫力に圧倒されていた。中学生やその保護者が温かく見守ってくれたので、小学生は楽しんで歌の発表をすることができた。

委員：理科では、中学校教師が小学校に行って、役割分担を決めて授業を行った。特別教室については、中学校は充実しており、小学生が来てより高度な授業ができれば良いと思う。小中連携に向けては、できることが色々とわいてきて楽しみである。

委員：渡り廊下でつながるメリットを十分に生かしたい。小中学校の図書室を共有するなど、上手に活用し、次年度はぜひ読書教育を目玉にして、本が好きな子どもをさらに増やしたい。

委員：教員の交流や中学校の教員が小学校で授業をするということを進めたい。そのために、小中学校の日課表の1時間目と3時間目の開始時間と、火曜日の5時間目の開始時間を揃えるようにした。また、水曜日の放課後はノ一部活動デーとして小中連携の日にし、教員同士が打ち合わせや情報交換ができるようにしたい。

事務局：学校が色々取り組んでいるので、ありがたい。市でも、ALTや理科支援ティーチャー等の人的配置や環境整備について予算要求している。

②「豊かな交流を重視した学校づくり」に向けて

委員：11月8日の地域文化祭では、入船地区の幼・保・小・中が一堂に会し、作品展示や幼・小・中の発表などがあり、幼稚園から中学校までどのように成長していくのかがわかる良い場となった。また、最後は両小学校と中学校での合同の合奏も行った。本番に至るまでには一緒に練習することもあり、教え合う姿などが見られ、音楽を通じた交流に手ごたえを感じた。

委員：地域からも、美浜公民館で活動している方々や今川地区の方々も参加してくれた。地域文化祭は、今まで12回実施し、入船地区の大きな財産であると考えており、今後も続けていきたい。

委員：交流という意味では地域文化祭が目玉になる。今年地域文化祭には手作り感があり、つながりを感じるものだった。次年度も4月当初から計画を立てながら、地域の方や子どもたちが活躍できる場として進めたいと思う。

委員：地域文化祭は、生徒のリーダーシップを発揮する1日であった。生徒から、この日を「地域を愛する日」に設定したいという意見も出てきて、頼もしく思う。

委員：地域文化祭の他にも、部活動の交流や、小学校と中学校が一緒の日に学習参観をすることで、両校の作品を見ることができたら良いと考えている。

委員：英語に親しむ講座には、小学6年生と中学1年生の計21名が参加した。全10回の最後の方になると、積極的に英語を話していた。次年度以降もこの講座は実施していきたい。

③「両校の良さを受け継いだ学校づくり」に向けて

委員：地域の方々が学校を応援して下さる地域なので、引き続き応援いただきながら、子どもたちが地域に貢献できるようにしたい。

委員：入船北小学校の読書活動は、朝の読み聞かせ等で成果をあげられているが、入船南小学校でも実施しているので、引き続き読書活動を進め、本の好きな子どもを育てていきたい。

委員：新しい小学校には、ホタルの里もあるので、ビオトープとして子どもたちが自然に触れられる環境を活用しながら、理科教育や環境教育を充実させていきたい。

委員：PTA同士の会則を含めたすり合わせを行っている。会則はほとんど出来上がった。

「読みやすく、わかりやすい」をコンセプトに進め、それぞれのPTAの良いところを取り入れるようにした。

○入船北小学校と入船南小学校の閉校に伴う行事について

委員：3月7日にお別れ会を実施する。記念誌については作成作業を進めており、3月7日には配布できるようにする。

委員：入船北小学校では、午前中は、教職員主催で6年生を送る会を中心に、午後は、保護者主催でお別れ集会第2部を行う。浦安出身のシンガーソングライターや入船北小学校出身で音楽活動をされている方々による室内楽の演奏会を予定している。OBの方から要望があり、第3部を有志で行うことにした。

委員：入船南小においても、入船北小と同様に弁当を持参して実施する。午前中は学校主体で、午後についてはPTAと調整中である。地域でお世話になった方々への感謝の気持ちも込めて実施できたらと考えている。

○質問・意見など

委員：色々な話を聞くことができたので、小中連携等期待感が高まった。しかし、中学校の生徒数が減っているのが心配である。

委員：生徒数を増やすために魅力ある学校づくりをしようと、職員も頑張っている。地域文化祭では、中学生が「小学生に来てほしい」と頑張っていた。生徒も教員も頑張っている。

委員：生徒数が減るのは現時点では仕方がない。長い目で見れば増えていけば良いと思う。そのために入船中学校区のみんなで連携して魅力あるシステムを作り上げると、じわじわと人数が増えていくのではないだろうか。魅力があると、越境して入学する生徒が出てくると思う。中学校と連携できるのであれば、中学校の教員が専門的な内容を教える。高度な内容が必要な子どもたちにはもっと高度な教育を提供していくようなシステムを私立だけでなく、公立の学校も作り上げていく。大きな話だが、そういうシステムを作っていくべきではないか。

委員：先日の地域文化祭では、PTAによる販売ブースで、中学生が小さい子たちに手を差し伸べたり、一生懸命呼び込みをしたりしてほほえましかった。小さい子たちに丁寧な教えたりする姿を見て、小中で連携してやっていくということはすごく大切なことかもしれないと思った。伝統のある学校なので、人数が少なくても踏ん張っていただき、人数が増えていっ

てほしいと思う。地域の方々、保護者も含めて盛り上げてほしいと思う。

事務局：貴重なご意見をありがとうございました。様々な取り組みを行っていることがよくわかりました。そうした思いに応えるためにも、今後もできる限り学校と連絡を密にして4月の開校に向けて準備を進めていきたいと思う。

委員：浦安では今回が初めての統合となるが、まさに浦安のモデル校となる。同じ状況が10年後以降は新町地区で起こることになる。今日までやっていただいたPTAのすり合わせなども残していただき、浦安のモデルとしていければと思う。

浦安市では実効性のある連携教育の取組を進めているところである。学校とPTAと地域の方々にご協力いただき、統合を機に地域を盛り上げ、中町を盛り上げるモデルとしていきたいと考えている。

今回の議論は、市教委としてもしっかりと受け止め、生かしていきたい。